総合型選抜

Web
インターネット出願

入試制度の特徴

01 広島修道大学入学を第一志望とする専願入試

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つ方が対象です。
合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。
2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

02 自己推薦で自分の能力・特技をアピール

自己推薦で受験できる入試制度です（学校長の推薦は必要ありませんが、出身学校調査書は必要です）。
出願資格や選抜方法は学部・学科によって異なりますのでよく確認してください。

03 合格者には本学独自の入学準備学習プログラムを用意

大学生活へのスムーズなスタートを目的として、独自の入学準備学習プログラムを実施します。
合格後、入学までに行う学習で、「キャンパス学習」と「通信課題学習」で構成されています。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》 一括手続	入学手続期間《手続選択制》 分割手続
商学部	商学科	活動実績重視方式	23名	《インターネット出願受付》 2025年 **9/24(水)～10/3(金)** ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2025年 **10/25(土)**	広島(本学)	2025年 11/1(土)	2025年 11/5(水)～11/14(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 11/5(水)～11/14(金) 締切日消印有効 《第2次入学手続》 2026年 2/24(火)～3/3(火)
		小論文重視方式							
	経営学科	活動実績重視方式	20名						
		小論文重視方式							
人文学部	社会学科		9名		**10/26(日)**				
	教育学科		12名						
	英語英文学科	課題図書方式	15名						
		課題探究方式							
法学部	法律学科	ゼミナール方式	15名		**10/26(日)**				
		スポーツ実績方式 芸術・文化実績方式	5名		**10/25(土)**				
経済科学部	現代経済学科		11名						
	経済情報学科		11名						
人間環境学部	人間環境学科	レポート方式	15名		**10/25(土)**				
		プレゼンテーション方式							
		活動実績方式							
健康科学部	心理学科		5名		**10/25(土)**				
	健康栄養学科		20名						
国際コミュニティ学部	国際政治学科	課題図書方式	14名		**10/26(日)**				
		指定資格方式							
	地域行政学科	課題図書方式	14名						
		指定資格方式							

インターネット出願をご利用ください。

TOPICS!

受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

**本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページから
ダウンロードしてください（詳細は106ページ）。**

イベントに参加しよう!

来場型イベント「受験生・保護者対象入試説明会」と「オープンキャンパス」を実施します。
入試対策に役立つプログラムもありますので、総合型選抜の受験を考えている方は、積極的に参加しましょう。

「受験生・保護者対象入試説明会」「オープンキャンパス」

受験生・保護者対象入試説明会	オープンキャンパス第1回	オープンキャンパス第2回	オープンキャンパス第3回
6/22（日）	7/19（土）	7/20（日）	8/24（日）

イベントの詳細はP03〜P04へ！

総合型選抜の課題・課題図書・テーマを発表!!

総合型選抜では、事前に課題やテーマを発表する学科があります。今年度は受験生・保護者対象入試説明会［2025年6月22日（日）］以降に発表。本学の入試情報サイトにも掲載します。受験予定の方は、必ずチェックしてください。

■過去の課題

●人文学部 教育学科（課題図書）

2025 『勉強の価値』（森博嗣 著／幻冬舎）
2024 『やらかした時にどうするか』（畑村洋太郎 著／筑摩書房）

●人文学部 英語英文学科（課題図書）

2025 Alex Raynham and Rachel Bladon, *Global Issues* , Oxford Bookworms
2024 Edith Wharton , *Ethan Frome* , Oxford Bookworms

●人文学部 英語英文学科（課題探究）

2025 あなたはTaylor Swiftのメッセージにどう答えますか？

●法学部 法律学科（課題）

2025 「わが国において積極的安楽死は合法化すべきだろうか。そのメリットとデメリットを検討した上で、あなたの考えをまとめてみよう。」
【参考文献】
『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』（安藤泰至 著／岩波書店）
※その上で、十分な立論のために必要な範囲で、様々な資料に当たってください。例えば、最近の文献としては以下のようなものがあります。（あくまでも例示です。）
『安楽死が合法の国で起こっていること』（児玉真美 著／筑摩書房）
『尊厳死および安楽死を求める権利』（松井茂記 著／日本評論社）
『安楽死・尊厳死の現在』（松田純 著／中央公論新社）

2024 「赤ちゃんポストを全国的にも設置すべきか否か、そのメリットとデメリットを踏まえてあなたの考えをまとめてみよう。また、実親により育てられない子の命を救う方法としてほかにどんな方法があるか考えてみよう」
【参考文献等】
『なぜ、わが子を棄てるのか―「赤ちゃんポスト」10年の真実』（NHK取材班／NHK出版）
『熊本市ホームページ』（『こうのとりのゆりかご』第5期検証報告についての各種資料）
『法務省・厚生労働省通達』（内密出産制度に関する通達「妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて」）

●経済科学部（講義理解力試験テーマ）

2025 「若者はどこに住み、働くのか？」
2024 サッカー観戦チケットのビジネスモデル

●人間環境学部（レポート方式・プレゼンテーション方式のテーマ）

2025 「農林水産業が環境に与える影響を一つ取り上げ、私たちはどのように取り組むべきか、あなたの意見をまとめなさい」
2024 生活物資の大量生産・大量消費に関する問題を一つ取り上げ、私たちはどのように取り組むべきか、あなたの意見をまとめなさい

●健康科学部 心理学科（課題図書）

2025 『人間関係ってどういう関係？』（平尾 昌宏 著／筑摩書房）
（筆記試験の出題範囲：第１章〜第７章（コラムを除く））
（集団活動試験の出題範囲：全て）
2024 『心のなかはどうなっているの？ 高校生の「なぜ」に答える心理学』（日本青年心理学会 著／若松養亮 編／福村出版）
（筆記試験の出題範囲：第３部 第 11 章〜第 23 章）
（集団活動試験の出題範囲：全章）

●健康科学部 健康栄養学科（課題レポート）

2025 「近年では、食の多様化が著しく、食の外部化や保健機能食品などの活用が増加しています。このような社会において、将来、栄養士・管理栄養士を目指すあなたは、食の多様化についてどのように捉えているか、あなたの考えを述べてください。」
2024 a 〜 g の語から３つ以上を組み合わせて、あなたがこれまでに取り組んできたこと、および大学で取り組みたいことについて標題を付けて述べてください。
［a. 食育　b. 食品（開発・衛生含む）　c. 調理　d. 生活習慣病　e. 運動　f. 心理　g.SDGs］

●国際コミュニティ学部 国際政治学科（課題図書）

2025 『SDGs時代の国際協力』（西村幹子、小野道子、井上儀子 著／岩波書店）
2024 『ロシア点描：まちかどから見るプーチン帝国の素顔』（小泉悠 著／PHP出版）

●国際コミュニティ学部 地域行政学科（課題図書）

2025 『街路樹は問いかける』（藤井英二郎、海老澤清也、當内匡、水眞洋子 著／岩波書店）
（出題範囲：序章、１章、４章、終章から出題いたします。ただし、それらの章の中で述べられている街路樹の剪定に関する具体的な技術や手法については出題いたしません。）
2024 『買い物難民対策で田舎を残す』（村上稔 著／岩波書店）

入学準備学習プログラムについて

総合型選抜に合格し入学手続をされた方を対象に、入学までの期間を利用し、「入学準備学習プログラム」を実施します。このプログラムの目的は、「本学での学びにむけた姿勢や知識を身に付け、入学後の学習をスムーズにスタートできるようになること」であり、大学において対面で実施する「キャンパス学習」と、自宅で課題を学習し提出する「通信課題学習」で構成されています。合格者は、入学までの期間、入学準備学習に取り組んでください。
詳しい日程・内容等は、合格者に別途送付します。

商学部
THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

商学科　経営学科

活動実績重視方式

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00〜11:00	50点
面接(個別:20分程度) 面接の内容は大きく以下の2つを軸として実施します(各々10分程度)。 ①高校時代に行った「ユニークな活動」を中心とした自己アピールを3分程度で行います。その後それに対する質疑を行います。なお、自己アピールは口頭で行うものとし、メモや情報機器の使用、パフォーマンス、資料の配付は認めません。 ②志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、将来の希望、およびそれらに関連する社会・経済などに関する質問をします。	12:00〜	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	100点

配点

小論文 50点 ＋ 面接(個別)50点 ＋ 出願書類 100点(志望理由書・活動報告書) ＝ 200点満点

選抜方法／記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の(1)〜(2)すべてに該当する者

(1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa〜cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2025年3月以降に修了した者または2026年3月に修了見込みの者は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください)

[募集要件]

①スポーツ活動の分野
スポーツ活動(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(レギュラーとして出場し、県大会8位以上の実績を目安とします)

②文化・芸術・学問活動の分野
文化・芸術・学問の分野(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(団体競技参加の場合、県大会入賞以上の実績を目安とします)(個人競技参加の場合、250名にひとりの割合で選出される実績を目安とします)

③生徒会活動の分野
所属する高校の生徒会活動において、中心的な役割(会長・副会長・書記等)を果たした者。生徒会役員(委員長等)およびクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者を目安とします。

④ボランティア活動の分野
ボランティア活動を継続して行った者。ただし、活動は必ず自発的なものでなくてはならず、高校の活動の一環として行われたもの(例えば学校行事としての地域清掃)は含みません。また、活動は社会的なものでなければならず、家庭内や親族に対して行った活動(老人・病人に対する介護・看病等)は含みません。

⑤海外留学等活動の分野
高等学校等在学中に海外留学等経験がある者(3週間以上の海外留学等の経験がある者を目安とします)

⑥その他活動の分野
上記①〜⑤のいずれの分野にも該当しないが、上記実績に相当する活動実績をあげた者

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①〜④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
①商学科または経営学科を志望する動機・理由
②高校時代に活動したことで学んだもの、身についたもの
③将来の進路
④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか
(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)
e. 活動実績を裏付ける客観的資料
新聞記事、大会・コンクール等の冊子、印刷物、賞状等の写しを提出してください。本人の出場・参加が確認できる資料(例えばスコアブック等)も添付してください。**資料はA4判にして**提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

商学部 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

商学科　経営学科

小論文重視方式

試験日 10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00〜11:30	120点
面接(集団) 高校時代に力を入れたこと、志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、 将来の希望、およびそれらに関連する社会・経済などに関する質問をします。	12:30〜	40点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	―	40点

配点

小論文120点 ＋ 面接(集団)40点 ＋ 出願書類40点(志望理由書・活動報告書) ＝ 200点満点

選抜方法／記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 社会情勢にいつも関心を持つこと

毎日、新聞の一面や国際面に目を通したり、ニュース番組を見たりするようにしましょう。経済やビジネスばかりでなく、政治や社会の動きにも注意。

2 自分の頭で考え、自分の言葉で語れること

1で知ったことについて自分なりにまとめて、自分の感想を書いてみましょう。文章にすることは自分の考えを整理する上で効果的です。

3 自分の知識を増やし、自分の考えを鍛えること

2ができるようになるために、新聞などに載る専門家のコメントや論説を読んだり、ニュース解説・特集番組を見たりして参考にしましょう。

4 自分の将来の夢を持つこと

将来自分がこうなっていたいというイメージを育て、人に明確に伝えられるようにしましょう。「夢」は生きてゆく上で、強力なパワーになります。

出願資格

次の(1)〜(3)すべてに該当する者

(1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa〜cのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**

(3) 学内における課外活動において継続して活動を行った者または、その他の活動を行った者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2025年3月以降に修了した者または2026年3月に修了見込みの者は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください)

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①〜④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
①商学科または経営学科を志望する動機・理由
②高校時代に活動したことで学んだもの、身についたもの
③将来の進路
④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか
(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

オープンキャンパスで**課題資料配付！**
第1回[7/19(土)]、第2回[7/20(日)]、第3回[8/24(日)]

人文学部
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

社会学科

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等	時間	配点
課題小論文 課題資料に関する設問：各50点。 課題資料はオープンキャンパスで配付します。 ※参考資料として、試験当日課題資料を配付します。　(英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	10:00～12:00	100点
面接(集団)　*出願書類にもとづき行います。	13:30～	100点

配点

課題小論文100点 ＋ 面接(集団)100点 ＝ 200点満点
(出願書類を加味します)

選抜方法／出願書類・面接、課題に関する試験の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE　ワンポイントアドバイス

1 身の回りのさまざまな出来事に広く関心を持つ

テレビ、新聞、雑誌などの世の中のニュースや出来事はもちろんのこと、自分の身近なところで起こっている出来事や問題など、さまざまな事象に好奇心を持って接しましょう。

2 関心を持ったことを徹底的に調べる

興味を持った事象や出来事に関して、本を読むことは大変重要です。また、本を読むだけでなく、実際に街や現場に出かけ、自分で観察し経験しつつ考えることも大切です。

3 常識にとらわれず、多角的に物事を見る

自分で集めた情報を基に、既存の価値観や常識にとらわれることなく、多様な視点から考え、これまでと違った「社会の見方」が出来るように心がけましょう。

4 自分の考えを他の人に対して明快に伝える

自分自身の「社会の見方」を他の人たちに理解してもらえるよう、データや情報を整理し、論理的に考え、筋道を立てて分かりやすく説明できるように訓練しましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学人文学部社会学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 次のa～dのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書
学業以外で関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、社会学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。(1,000字程度)
d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

人文学部 教育学科
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
筆記試験	課題図書の内容の読解、要約、分析、論述の能力を問います。課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00～10:45	100点
集団討論	少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題されるテーマについてお互いに意見を出し合いながら合意形成を図ります。課題図書の持ち込みは不可とします。	11:00～12:00	70点
面接(個別)	課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。	13:30～	30点

配点

筆記試験100点 ＋ 集団討論70点 ＋ 面接30点 ＝ 200点満点

選抜方法／筆記試験、集団討論、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書を熟読しましょう。

まずは課題図書の内容の理解に努める必要があります。その際、文章の構成を把握することを心がけてみましょう。目次や見出し、キーワードに着目し、節・段落ごとに内容をまとめ、それらを図示することが効果的です。

2 考えながら読みましょう。

筆記試験の論述問題や集団討論では論理的・教育学的な考えをもつ必要があります。自身で「問い」を立てて読むことを心がけてみましょう。図書の内容をすべてうのみにせずに、著者の考えを批評するという「著者と対話する」意識が重要です。

3 自身の考えを他者に伝える経験を積みましょう。

集団討論では合意形成(意見の一致)を図ります。その際、自身の意見をわかりやすく述べる必要があります。自身の考えを文字に起こすなどして推敲した上で他者に伝えて、フィードバックを受けてみましょう。

4 ディスカッションの経験を積みましょう。

集団討論では、他者の発言に耳を傾ける、質問する、意見をまとめるなど、合意形成を目指す言動が必要となります。また、議論の進行や多様な意見に合わせて自身の考えの中から適切な意見を選んで発言する必要もあります。授業や課外活動でこれらを心がけてみましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者で高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(1,200字程度)
これまでに学業以外で特に関心を持って取り組んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注)a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

人文学部
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

英語英文学科

課題図書方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
英語力試験 課題図書をあらかじめ提示し、それを出題範囲として文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテストを実施します。	文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト	10:00～11:10	100点
面接(個別) 課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。また、面接には課題図書の一部の音読を含みます。		12:30～ (1人15分程度)	50点

配点

英語力試験 文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト 100点 ＋ 面接(個別)50点 ＝ 150点満点

※課題図書の音読を含む

選抜方法／英語力試験、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 文法を意識する

英文の文型を正確に把握しましょう。また動詞の形(時制・仮定法など)から、その意味を確実にとらえましょう。

2 文章の流れをとらえる

文脈情報を活用し、それぞれの指示詞の内容をとらえ、ストーリーや論理の流れを理解しましょう。

3 和訳の練習をする

実際に訳文を書く練習をしておきましょう。分かったつもりでもいざ訳すとなると意外にできないものです。

4 音読の練習をする

音とイントネーションに気をつけながら、英語を声に出して読んでみましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
d. 活動報告書
   ① 高校時代、あなたはどのような活動をしてきましたか。生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、地域活動、海外留学などを自由に、その内容を記入してください。
   ② 各種英語技能検定試験および特別な能力や技能・資格を修得している場合は、それを記入してください。
   ③ その他、自分の得意なこと、自分の長所などを自由に書いてください。
e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
探究課題発表！

人文学部 英語英文学科
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

課題探究方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
英語力試験 レポート(日本語2,000字以内あるいは英語1,000ワード以内) ショートスピーチ(英語)…英語のショートスピーチ試験を2分程度実施します。あらかじめ提示された探究課題について自由に話してください。また、ショートスピーチの後、英語での質疑応答があります。	ショートスピーチ(英語)	10:00～ (質疑応答を含め5分程度)	100点
面接(個別) 探究課題に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。 また、面接には探究課題に関する資料(課題資料)の一部の音読を含みます。		12:30～ (1人15分程度)	50点

配点

英語力試験 レポート、ショートスピーチ(英語) 100点 ＋ 面接(個別)50点 ＝ 150点満点

※課題資料の音読を含む

選抜方法／英語力試験、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

探究課題は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 探究課題について調べる
書籍、雑誌、新聞、インターネットなどで情報収集し、自分の考えについてメモを集めましょう。

2 意見をまとめる
自分の印象や経験を世界の出来事の中に位置づけ、客観的な情報に基づき、意見をまとめましょう。

3 レポートは分かりやすく
何を伝えるかを整理しましょう。伝える順序、伝え方を工夫し、分かりやすいレポートを作成しましょう。

4 英語で話す練習をする
高校の先生、友人、家族などに自分の英語を聞いてもらい、質問に英語で答える練習もしましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 次のa～dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
d. 活動報告書
① 高校時代、あなたはどのような活動をしてきましたか。生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、地域活動、海外留学などを自由に、その内容を記入してください。
② 各種英語技能検定試験および特別な能力や技能・資格を修得している場合は、それを記入してください。
③ その他、自分の得意なこと、自分の長所などを自由に書いてください。
e. レポート
① あらかじめ提示された探究課題について、図書、雑誌、新聞、インターネット等で調べ、日本語2,000字以内あるいは英語1,000ワード以内のレポートを作成してください(レポート末尾に本文の文字数あるいは語数を記載してください)。試験当日、このレポートに関し、質疑応答を実施します。
② レポートはA4判用紙を使用してください(パソコン等の使用も可)。
③ レポートの冒頭に議題、氏名を明記してください。図表を使用する場合、図表は文字数に含めません。
④ レポートは、2025年10月3日(金)(消印有効)までに入学センターに郵送してください(提出後の訂正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
f. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題および参考文献、参照物の詳細発表！

法学部
THE FACULTY OF LAW

法律学科

ゼミナール方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
ゼミナール	課題について、参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成します。ゼミナールでは、報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。ゼミナールでは、参考文献等(参照物)を利用することができます。 (見解説明1人あたり5分・集団討論45分)	10:00～	100点

※　試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

ゼミナール(見解説明＋集団討論)100点 ＝ 100点満点

選抜方法
／出願書類、ゼミナール報告要旨、自己の見解説明および集団討論の状況にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

ゼミナール方式では、課題について事前に作成した報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。課題および参考文献、参照物の詳細等については、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 試験当日の進行や評価のポイントについては、本学入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。

2 あらかじめ発表される総合型選抜の課題について、各自で事前に学習を行い、それをふまえて自己の見解をゼミナール報告要旨(A4用紙1枚・本学所定の用紙)に適切にまとめましょう。

3 ゼミナールでは、冒頭に各自が5分ずつ、事前に作成したゼミナール報告要旨にもとづいて自己の見解説明を行います。見解説明では、報告要旨を使いながら自分の考えを適切にまとめて報告する能力が評価されます。

4 各自の見解説明の後、大学教員の司会で集団討論を行います。集団討論では、積極的な発言、教員の質問や他の人の意見に対する的確な応答、発言の論理性などが評価されます。

出願資格

ゼミナール方式

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)この出願資格については2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

ゼミナール方式

a. 出願シート(カラー印刷)

b. 出身学校調査書

c. 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。

d. ゼミナール報告要旨(A4用紙1枚)
課題について参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成してください。

e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。ゼミナール報告要旨をパソコンで作成する場合は、原稿を所定用紙の枠内に直接印字または貼付してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、試験に活用します。

ゼミナール方式、スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式共通

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。(法律学科全方式共通)

法学部 THE FACULTY OF LAW

法律学科

スポーツ実績方式　芸術・文化実績方式

試験日 10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	活動報告書	—	50点
社会問題についての小論文・面接(個別)	*面接は出願書類にもとづき行います。出願書類「社会問題についての小論文」のコピー(面接時に配付)を参照できます。このコピーは面接終了時に回収します。	10:00～	50点

※　試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

活動報告書50点 ＋ 社会問題についての小論文・面接(個別)50点 ＝ 100点満点

選抜方法／出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

スポーツ実績方式および芸術・文化実績方式では、公認部活動団体の活動において挙げた成績および日々の練習状況をあわせて50点、現代社会に対する問題意識およびこれに関する面接をあわせて50点の100点満点で評価します。

1 試験当日の進行や評価のポイントについては、入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。

2 毎日、新聞などを読み、現在の社会で何が起こっているのかをチェックしておきましょう。異なる観点からさまざまなことが述べられているはずです。できるだけ多くの記事をスクラップし、自分なりにまとめてみましょう。

3 とくに自分が興味や関心を抱いた事柄については、関連する文献などを探しこれらもまとめておきましょう。スポーツ活動や芸術・文化活動で培った根気強さを生かし、「読む」・「書く」習慣を入学前につけておきましょう。

4 面接試験では、「話す」・「説明する」ことが求められます。自分がやってきたスポーツ活動や芸術・文化の活動・社会問題に関する調査研究などを正しく簡潔に説明できるようにしておきましょう。

5 スポーツ活動や芸術・文化活動の実績は、これを証明する書類(賞状・新聞記事など)のほかに、顧問の先生等に証明をしていただく必要があります。過去の記録などをよく整理しておいてください。

出願資格

スポーツ実績方式

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体のスポーツ活動において優秀な実績をあげた者で、次のa～cのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

(注1)この入試制度の選考対象となるスポーツ活動は、硬式野球、軟式野球、体操競技・新体操、水泳、陸上競技、サッカー、フットサル、アメリカンフットボール、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、卓球、ソフトボール、ローイング、ヨット、ボクシング、レスリング、柔道、空手道、剣道、弓道、アーチェリー、駅伝、ラグビー、スキー、スケート・アイスホッケー、なぎなた、登山、少林寺拳法、スカッシュ等とします。
(注2)注1にあげたもの以外に、次のa～cのいずれかに該当する競技も、この入試制度の選考対象とします。
a. 全国高等学校総合体育大会における開催競技
b. 全国高等学校体育連盟に競技専門部を持つ競技
c. 国民体育大会における開催競技(過去3年間に1回以上、正式競技、公開競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事のいずれかに選ばれたもの)

(注3)出願を希望する競技(スポーツ活動)が選考対象となるものかどうかについては、2025年9月8日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

芸術・文化実績方式

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体の芸術・文化活動において優秀な実績をあげた者で、次のa～cのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了(2026年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

(注1)この入試制度の選考対象となる芸術・文化活動は、演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、ダンスドリル、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首競技かるた、新聞、文芸、自然科学等とします。

(注2)出願を希望する芸術・文化活動が選考対象となるものかどうかについては、2025年9月8日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

出願書類

スポーツ実績方式／芸術・文化実績方式

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
d. 活動報告書
これまでのスポーツ活動または芸術・文化活動についての実績を記入してください。この報告書は、**顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。**
e. 活動実績を証明する資料(賞状、新聞記事、大会パンフレット(抜粋)のコピーなど)を**A4判にして**提出してください。
f. 社会問題についての小論文(日本語800字程度)
あなたが考える社会問題について日本語800字程度にまとめてください。

(注) a、c、d、fは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類d・fは採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
講義テーマ発表！

経済科学部
THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

現代経済学科　経済情報学科

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
講義理解力試験 講義(ビデオ等を使用することもある)を聴き、その内容が理解できたか、簡単な試験を行います。 試験は講義で配布する資料およびメモ用紙を持ち込んでよいこととします。	10:00～12:00 講義 50分程度 試験 50分程度	100点
面接(個別) 主に、次の2点に関して面接を行います。 ①経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由 ②高校時代に行ったユニークな活動 面接は質疑応答の形式で行います。メモ(A4用紙1枚)を持ち込んでよいこととします。	13:00～ (20分程度)	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	―	50点

配点

講義理解力試験 100点 ＋ 面接(個別) 50点 ＋ 出願書類(志望理由書、活動報告書) 50点 ＝ 200点満点

選抜方法／講義理解力試験、出願書類および面接にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

講義テーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 日頃から経済問題に関心を持ちましょう

日頃から新聞やテレビのニュースなどから経済問題に触れる機会を増やしておきましょう。疑問を感じたならば、すぐに調べる習慣をつけることも知識を蓄えていくうえで重要なことです。

2 調べるといっても…どうやって?

入試説明会・オープンキャンパスでは、経済科学部の先生がブースにいますので、遠慮せずに質問してみてください。的確なアドバイスはもちろん、総合型選抜に役立つヒントを与えてもらえるかもしれません。

3 問題の相互関係について考えよう

ひとつひとつの問題は、まったく独立に発生しているのではなく、意外と相互関係がある場合が多いものです。今調べている問題はこれまで自分が調べた問題と何らかのつながりがないか考えてみましょう。

4 調べたことをまとめよう

調べたことをまとめる習慣をつけておきましょう。自分の言葉で文章にすることにより、さらに理解が深まります。できれば、書いた文章を先生や友人に読んでもらい自分の言いたいことが相手に伝わっているかチェックしておくとカンペキです。

講義理解力試験について

1 講義理解力試験は、特に準備は要りません。"よくわかる"と評判の先生が、丁寧に講義します。真剣に聴けば、きっとよくわかります。普段から、学校の授業を、よく聴いて、しっかり理解するよう努力しましょう。

2 試験には講義で取ったメモを持ち込むことができます。講義を聴きながら、しっかりメモを取りましょう。赤青黄など、色鉛筆(カラーマーカー)もあると、もしかしたら役に立つかも?

面接について

1 面接では、特に「これまでに行ったユニークな活動」を話してください。活動の種類や内容は、特に限定しません。緊張することなくしっかり「自己推薦」してください。

2 面接には、メモ(A4サイズ1枚、両面使用可)を持ち込むことができます。けれども、メモを「読む」のはダメです。必要な時だけ「見る」ようにしましょう。熱心であることを伝えることができれば、合格が近づきます。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～cのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

ただし、a、b、cいずれの場合も、英語・国語・数学いずれか1教科の学習成績の状況が**3.7**以上の者は、全体の学習成績の状況が**3.3**以上でよい。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2025年3月以降に修了した者または2026年3月に修了見込みの者は、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由を説明してください。
d. 活動報告書(これまでのユニークな活動について報告してください)
この報告書は、**顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。**
e. 活動実績を証明する資料(資料は**A4判にして**ください)
dの活動を証明する書類(新聞記事、大会・コンクールの冊子、印刷物等)の写しを提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表！

人間環境学部
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

レポート方式

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	レポート(3,000字以内) ＊本文の文字数についてレポート末尾に記入してください。	—	100点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	10:00～10:30	50点
レポートに関する質疑応答審査	事前に提出したレポート内容についての教員による質疑への応答(15分程度)をもって審査します。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	11:00～ (質疑応答15分程度)	40点

配点

出願書類(志望理由書) 10点 ＋ 出願書類(レポート) 100点 ＋ 筆記試験 50点 ＋ 質疑応答審査 40点 ＝ 200点満点

選抜方法／レポート、質疑応答審査、筆記試験、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

共通のテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 共通のテーマについて調べましょう。

- 共通のテーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 自分の考えを正確に伝える工夫をしましょう。

- 自分の意見を自分の言葉で表現できるようにしましょう。
- 自分の意見と他の意見の違いや、自分の意見の根拠が説明できるようにしておきましょう。

3 レポートを作成しましょう。

- 担任の先生、友人、家族に自分の意見を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。
- それをレポートとしてまとめてみましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 次のa～cのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
d. レポート
①あらかじめ提示された共通のテーマについて、図書、雑誌、新聞等で調べ、3,000字以内のレポートを作成してください。また、本文の文字数について、レポートの末尾に記入してください。
試験当日、このレポートに関し、教員による質疑応答を実施します。
②レポートはA4サイズの用紙を使用してください(パソコン使用を認めます)。
③レポートの冒頭に論題、氏名を明記してください。なお、図表を使用する場合、この図表は文字数に含めません。
④レポートは、2025年10月3日(金)までに(消印有効)、入学センターに郵送してください(提出後の修正は、一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。

(注) a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表！

人間環境学部
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

プレゼンテーション方式

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、プレゼンテーション資料の持ち込みは不可とします。	10:00～10:30	50点
プレゼンテーション審査	あらかじめ提示されたテーマについて、所定の時間でプレゼンテーション(5分程度)を行い、その後、教員による質疑への応答(10分程度)をもって、審査します。	11:00～(15分程度)	140点

配点

出願書類(志望理由書) 10点 ＋ 筆記試験 50点 ＋ プレゼンテーション審査 140点 ＝ 200点満点

選抜方法／プレゼンテーション審査、筆記試験、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

共通のテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。
本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 共通のテーマについて調べましょう。

- 共通のテーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 分かりやすい発表資料を作りましょう。

- 調べたことやデータを整理し、原稿を作りましょう。
- 発表時間を考え、話す分量や図表の見やすさを工夫しましょう。

3 プレゼンテーションの練習をしましょう。

- 担任の先生、友人、家族に発表を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 次のa～cのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
d. プレゼンテーション資料
①あらかじめ提示された共通のテーマについて、パソコン(マイクロソフト社パワーポイント)、模造紙、画用紙を使って、発表を行います。
②プレゼンテーション方法について、志望理由書の所定の欄(最下段)に、志願者が実施するプレゼンテーションの方法を具体的に記入してください。
③プレゼンテーション資料の1枚目に論題、氏名を明記してください。
④発表に使用するパワーポイントのファイルを保存したUSBメモリ、模造紙、画用紙等は2025年10月3日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。

(注) a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
共通のテーマ発表！

人間環境学部
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

活動実績方式

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	活動実績書・活動実績証明資料	—	100点
筆記試験	共通のテーマに関連する基礎的な知識を問います。レポート、プレゼンテーションは課しません。	10:00～10:30	50点
面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	11:00～(15分程度)	40点

配点

出願書類(志望理由書) 10点 ＋ 出願書類(活動実績書・活動実績証明資料) 100点 ＋ 筆記試験 50点 ＋ 面接 40点 ＝ 200点満点

選抜方法／活動実績、筆記試験、面接、志望理由書および出身学校調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 環境問題と持続可能性について調べましょう。

●環境問題だけではなく最近話題の「SDGs」についても普段から関心を持つようにしましょう。

2 読解力を養いましょう。

●文章を読み解き、その意図や背景についても理解するよう努力しましょう。

3 表現力を身につけましょう。

●自分の考えを自分の言葉で筋道をたてて表現できるようにしましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

b. 高等学校または中等教育学校を2025年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

c. 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月以降に修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

[募集要件]

活動実績書に、募集要件①～⑦のうち、いずれかひとつを選択し記入してください。選択した募集要件においては、もっともその実績をアピールすることができると考える活動一つを記入してください。

①環境に関する活動
高等学校在学中に、環境保護活動、環境に関するボランティア活動を1年間以上継続し、これらに複数回以上参加した経験がある者。
※ただし、高等学校の活動の一環として行われたものや家庭内や親族に対して行った活動は除きます。

②環境コンテスト
高等学校在学中に、国・地方自治体や環境団体等が実施する環境関連のコンテスト等に中心的な役割を果たして出場した者。なお、高校生として優秀な成績(奨励賞や特別賞等を含む)をあげた者については加点評価します。

③スポーツ活動
スポーツ活動の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催の試合・競技会等に選手・競技者等として出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。

④文化・芸術・学問活動
文化・芸術・学問の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催のコンクールやコンテストへ出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。学問活動の分野は、高等学校在学中に14日以上の海外留学経験を含むものとします。

⑤生徒会活動
高等学校在学中に、生徒会活動で中心的な役割(会長・副会長・書記等)を1年間以上務めた者、またはクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者。

⑥資格取得
高等学校在学中に、各種団体等が主催する資格試験や検定試験等を受験し、合格している者、または高校生として優秀な成績をあげた者。

⑦その他(社会的活動等で自己推薦できるもの)
高等学校在学中にアピールすることができる社会的活動等を継続的に複数回行った者。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
d. 活動実績書
高校時代に勉強と同時に行ってきた主要な活動について、その内容を記入してください。
e. 活動実績を証明する資料
活動実績を証明する資料のコピーを**A4判にして**提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。活動実績書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

心理学科

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	20点
筆記試験 課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。なお課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00〜10:20	50点
集団活動試験 少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題される課題についてお互いに意見を出し合いながらその解を導きます。課題図書・自筆のメモ(A4用紙1枚・両面使用可)の参照可とします。なお、この活動時間内に、課題の解ならびにその根拠を示したプレゼンテーション資料を作成します。	10:30〜11:50	80点
集団討論 集団活動試験で作成したプレゼンテーション資料にもとづき、グループごとに討論内容のまとめを発表し、質疑応答を行います。	12:00〜12:40	50点

配点

出願書類(志望理由書) 20点 ＋ 筆記試験 50点 ＋ 集団活動試験 80点 ＋ 集団討論 50点 ＝ 200点満点

選抜方法

／出願書類(志望理由書)、筆記試験、集団活動試験、および集団討論の結果に重点を置き、出身学校調査書にもとづく知識等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書をしっかり読み込みましょう。

筆記試験では主に多肢選択方式によって課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。一般常識だけでは正解を見つけることは困難でしょう。試験日までに課題図書を繰り返し読み込むことが必要です。

2 自分の意見を積極的に表明する態度を養いましょう。

集団活動試験ではグループディスカッションを通じてあるひとつの課題を解決していきます。自分の意見を積極的に述べることが必要です。ただし「積極的発言＝他者の意見の完全否定」ではないことをココロに留めておきましょう。

3 メモをとる習慣を身につけましょう。

集団活動試験ではディスカッションを行うため、他の人の発言内容や議論の流れを正確に理解することが大切になります。メモを取ることはその役に立ちます。常日頃からメモを取る習慣を身につけ、正しい情報伝達と情報収集を心がけましょう。

4 簡潔・明瞭に伝える技術を養いましょう。

集団討論では先の集団活動試験の中で得られた結論をグループごとに紹介し、その内容をもとに議論を進めます。限られた時間の中での議論になります。他者への質問や自らの意見を述べる際は、簡潔・明瞭を心がけましょう。

出願資格

次の(1)〜(2)すべてに該当する者

(1) 本学健康科学部心理学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa〜dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部心理学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注)a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

健康栄養学科

試験日
10/25(土)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	40点
出願書類(課題レポート)	—	40点
プレゼンテーション審査 あらかじめ提示された課題図書の内容から出題されるトピックスについて、所定の時間でプレゼンテーション(3分程度)を行い、その後教員による質疑への応答(12分程度)をもって、審査します。	10:00～ (15分程度)	120点

配点

出願書類(志望理由書) 40点 ＋ 出願書類(課題レポート) 40点 ＋ プレゼンテーション審査 120点 ＝ 200点満点

選抜方法／出願書類(志望理由書、課題レポート)、プレゼンテーション審査、出身学校調査書にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 世の中の状況・動きに日ごろから関心を持ちましょう。
現在の我が国が抱える健康問題、健康増進の方策、保健・福祉行政の動きなどについて日ごろから関心を持ち、毎日、新聞に目を通すだけでなく、ニュース番組を見たり、雑誌・書籍・ネット等も利用していろいろ調べましょう。

2 一つの考えに固執することなく、様々な方向から考えましょう。
固定観念(一つの考え)に固執すると、それに隠された別の問題や基準を見落としてしまいます。必要ないと思っても少しでも関連しそうな情報には必ず目を通し、最後にまとめるまで大事に取っておきましょう。

3 自分で考え、自分の言葉で語りましょう。
情報をそのまま右から左では十分な理解ができていません。他者の言葉そのままでは相手には伝わりません。自分の頭で考え(整理し)、自分の言葉にすることが、他者に伝えるためには不可欠なステップです。

4 発表の内容を充分に検討し、質問に対して明確に答えられるよう練習しましょう。
調べたことや考えを整理し、図表等を用いて時間を守った発表ができるようにしましょう。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者
(1) 本学健康科学部健康栄養学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
(2) 次のa～dのいずれかに該当する者
a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)
d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部健康栄養学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
d. 課題レポート(1,200字程度)
e. プレゼンテーション資料(A4用紙1枚・片面)
①あらかじめ提出した課題レポートの内容について、A4用紙1枚にまとめたプレゼンテーション資料を使って、発表を行います。
②プレゼンテーション資料の作成にあたっては、パソコン等の使用も可とします。
③図表を転載する場合は、必ず出典を明記してください。
④プレゼンテーション資料は、2025年10月3日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
f. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

課題図書方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
小　論　文	課題図書に関する小論文 *課題図書の読解・要約・分析を求める論述問題や、課題図書に関する基礎的知識を問う設問を出題します。 *課題図書の持ち込み不可。	10:30～12:00	100点
出　願　書　類	志望理由書、自己アピール書	―	10点
面接（個別）	*出願書類にもとづき行います。	13:00～	90点

※　選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

小論文100点 ＋ 出願書類10点 ＋ 面接（個別）90点 ＝ 200点満点

選抜方法／出願書類、課題図書に関する小論文および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会［2025年6月22日（日）］で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 著者の意見やその理由づけなど、課題図書の内容をしっかりと理解しましょう。読むだけでなく、課題図書の内容を、章ごとに文章にまとめたり、家族や友人に説明をしてみましょう。実際に表現をしてみることで、理解できているかどうかを確かめることができます。

2 課題図書を読んでわからなかったことや関心を持ったことを、調べてみましょう。課題図書で取り上げられている問題の背景を、より深く正確に理解することにつながります。また、わからないことを調べる力を伸ばすことができます。

3 課題図書が取り上げる問題や著者の意見に対する、自分自身の意見や考えをまとめてみましょう。文章で書いてみたり、家族や友人に説明することで、自分の意見や考えが伝わるかどうかを確かめてみましょう。

4 オープンキャンパスでの「入試対策講座」や「個別相談」を積極的に活用してください。これらに参加することで、総合型選抜では何が求められ、どのように準備をすればよいのかを、より具体的につかんでください。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～eのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 高等専門学校第3学年を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
e. 高校卒業程度認定試験（学校教育法施行規則第150条5号）に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者（大学入学資格検定による合格者を含む。）この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート（カラー印刷）
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書（800字程度）

志望理由書に記載されている1）～4）の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

＊志望理由書に記載する事項
1）国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
2）本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
3）本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
4）大学卒業後の進路について考えていること。

d. 自己アピール書（600字程度）

＊自己アピール書に記載する事項
以下の1）～3）の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のままで結構です。
1）生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
2）検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
3）高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

e. 高校卒業程度認定試験の合格（成績）証明書または合格見込成績証明書（該当者のみ）

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください（106ページ参照）。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。
学力の3要素のうち特に思考力・判断力・表現力および主体性を多面的・総合的に評価します。

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

指定資格方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
資　　格	―	―	100点
出 願 書 類	志望理由書、自己アピール書	―	10点
面 接（個 別）	＊出願書類にもとづき行います。	10:00～	90点

※　選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

資格100点 ＋ 出願書類10点 ＋ 面接（個別）90点 ＝ 200点満点

選抜方法／面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の(1)～(3)すべてに該当する者

(1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～eの資格を1つ以上有する者
- a. ニュース時事能力検定試験 準2級以上
- b. 世界遺産検定 4級以上
- c. 実用英語技能検定（英検） 準2級以上
- d. 英検CSEスコア 1,728点以上
- e. GTEC（4技能）（CBTタイプも可）680点以上※オフィシャルスコアに限る

(3) 次のa～eのいずれかに該当する者
- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
- b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- c. 高等専門学校第3学年を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
- d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
- e. 高校卒業程度認定試験（学校教育法施行規則第150条5号）に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者（大学入学資格検定による合格者を含む。）この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート（カラー印刷）
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書（800字程度）

志望理由書に記載されている1）～4）の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

＊志望理由書に記載する事項
1）国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
2）本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
3）本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
4）大学卒業後の進路について考えていること。

- d. 自己アピール書（600字程度）

＊自己アピール書に記載する事項
以下の1）～3）の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のままで結構です。
1）生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
2）検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
3）高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

- e. 高校卒業程度認定試験の合格（成績）証明書または合格見込成績証明書（該当者のみ）
- f. 資格・検定等の証明書（写）
出願資格の証明書等のコピーをA4判にて提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください（106ページ参照）。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。
学力の3要素のうち特に知能・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。

全学部共通事項

受験上の注意は109ページを参照してください。

1. 入学検定料

30,000円

2. 出願方法

出願は、インターネット出願でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年9月24日（水）～10月3日（金） ※出願初日のみ8：45～受付開始

（1）インターネット出願で出願登録する（最終日の登録締切時間は15：00）
（2）入学検定料を納入する（最終日の入学検定料入金締切時間は16：00）
（3）出願書類を郵送する：出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください**（締切日消印有効）**。

※インターネット出願での出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

＊提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。出願にあたってはよく確認して手続きしてください。
＊出願書類の送付は郵送に限ります（締切日消印有効）。
＊出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

4. 感染症（インフルエンザなど）について

試験日当日に感染症（インフルエンザやはしかなど）にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

5. 出身学校調査書について（出願前3カ月以内に発行されたもの）

① 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程在学中の者は、第3学年第1学期までの成績が記入されたもので、学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
② 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程を卒業（修了）した者は、すべての成績が記入されたもので、出身学校長が証明し、厳封したものを提出してください。

③ 高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込みの者は、「合格（成績）証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。

※上記③については、人文学部、法学部（ゼミナール方式）、健康科学部、国際コミュニティ学部のみ。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により出身学校調査書が得られない場合には、卒業証明書（原本）を郵送してください。

6. 合格発表

合格発表日：2025年11月1日（土）10:00（予定）

（1）合格者には、**「合格通知書」**と**「入学手続書類」**を**速達**で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下（2）で合格を確認したうえで、11月6日（木）を過ぎても届かない場合は本学入学センターへ問い合わせてください。

（2）合否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細につきましては110ページを確認してください。

＊合格発表に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

7. 入学手続

入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。

【一括手続】 手続期間／2025年11月5日（水）～11月14日（金）（締切日消印有効）

手続内容／**（入学金の納入）**、**（前期分諸納付金の納入）**、**（インターネット入力）**および**（手続書類の提出）**

【分割手続】 **第1次入学手続**

手続期間／2025年11月5日（水）～11月14日（金）（締切日消印有効）

手続内容／**（入学金の納入）**、**（インターネット入力）**および**（手続書類の提出）**

第2次入学手続

手続期間／2026年2月24日（火）～3月3日（火）

手続内容／**（前期分諸納付金の納入）**

＊一括手続、分割手続ともに、2026年2月24日（火）～3月16日（月）の期間内に卒業証明書（原本）または高等学校卒業程度認定試験合格証明書（原本）を必ず郵送してください（既卒者は不要、締切日消印有効）。

＊入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

＊入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業（修了）しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。

入学金および諸納付金については111ページを参照してください。